

臨床薬理【必須群】（実習期間 1 週間）

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

臨床薬理学の講義で学んだ知識を治療に応用する際の基本的な考え方、技術、態度の修得を目標にする。

さらに、エビデンスを理解するための研究論文の読み方及び将来自らエビデンスを創出するための臨床研究立案についても体験的に学習する。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

臨床医にとって必須となるコンピテンシーと臨床薬理学クリニカル・クラークシップの位置づけは以下の通り（実習スケジュールを参照）

1) 患者を診察し、情報を得る

- 良好な関係を構築しつつ、必要な情報を得る
- 得られた情報を診療録に記録する
- 得られた情報から患者中心の治療目標（標準治療）を設定する
- 治療のための問題を定式化する（PICO/PECO）

2) 治療のエビデンスを収集し、吟味する

- 文献を検索する
- 文献を批判的に吟味する

3) 患者個別にエビデンスを適用する

- 患者に利益と不利益を説明し理解を得る知識を身に付ける
- 患者中心の治療法を選択する
- 治療方法（薬の用量など）の個別化を行う
- 継続的に治療を再評価する

4) 上記 1～3) のプロセスを評価する

- 上記のプロセスについて同僚、教官とともに評価する
- エビデンスの現状と問題点を把握する

5) さらに治療の向上を考える

- 解決すべき問題点のための臨床研究を考える

6) 臨床研究を実施する

- 臨床研究のためのチームをつくる
- 臨床研究審査委員会に申請するための計画の作成を行う

7) 研究成果を解析、発表する

- 医学統計学
- 学会発表、論文作成

3. 実習上の注意事項

1) 持参すべきもの

白衣（清潔なもの）、パソコン（所有していれば）

2) 課題

問題解決型学習（Problem-solving learning）を志向して与えられる課題に取り組む。

3) クリニカル・クラークシップ項目別チェックリストの提出

来年度以降のクリニカル・クラークシップカリキュラム改善のための参考資料にするので、項目別にチェック用紙に記載の上、最終日に提出してください。

4) その他の全般的事項として：

- 自ら学ぶ姿勢と討論によるより深い理解を大切にすること。
- 明確な学習の目的意識を持ち、時間を有効に使って勉学すること。
- 臨床薬理学講座内の機器類（コンピューター類等）は、指定されたもの以外には触れないこと。

4. 「医学生の臨床実習における医行為と水準」の例示

1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき

臨床推論、診断・治療計画立案、EBM、診療録作成、症例プレゼンテーション、医療面接

2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される

該当なし

5. 参考文献

- 臨床薬理学 第4版（日本語）一般社団法人 日本臨床薬理学会（著）
- Clinical Problem - Solving Collection—from The New England Journal of Medicine
黒川 清（翻訳），福原 俊一（翻訳），福井 次矢（翻訳）
- Case records of the Massachusetts General Hospital collection—From The New England
journal of medicine 永井 良三（翻訳），今井 靖（翻訳）
- 日本医師会 治験促進センター 治験・臨床研究の実施に役立つお助けツール
http://www.jmacct.med.or.jp/information/project_concept.html

【スケジュール】（基本スケジュール）

※事前に臨床薬理学講座が moodle 上にアップロードした説明書に目を通しておく！

（月曜日）

（午前）	09:00-10:00	関口	ガイダンス
	10:00-10:30		医療面接実習 準備
	10:30-12:00	関口（全員）	医療面接実習
（午後）	13:00-15:00	上村	Comprehensive physical examination（場所：CTU）
	15:00-17:00	自主学習	症例まとめ，薬物治療の検討・論文の読み方 準備

（火曜日）

（午前）	09:00-12:00	上村	臨床研究論文の読み方（発表・ディスカッション） インフォームドコンセントについて
（午後）	13:00-14:00	中村	医療文献情報の検索方法
	14:00-15:00	及川	医薬品の安全性情報について
	15:00-17:00	自主学習	薬物治療の検討，症例プレゼンテーション 準備

（水曜日）

（午前）	10:00-12:00	甲斐	薬物治療の検討，臨床研究デザイン
（午後）	14:30-15:30	甲斐・及川	臨床研究企画立案
	15:30-17:00	自主学習	臨床研究企画立案 準備

（木曜日）

（午前）	09:00-12:00	自主学習	臨床研究企画立案 準備
（午後）	13:00-14:00	甲斐・及川	臨床研究企画立案 発表前相談①
	14:00-17:00	自主学習	臨床研究企画立案 準備

（金曜日）

（午前）	10:00-11:00	甲斐・及川	臨床研究企画立案 発表前相談②
	11:00-12:00	自主学習	臨床研究企画立案 準備
（午後）	14:00-16:00	全教員	症例プレゼンテーション（発表・ディスカッション） 臨床研究企画立案（発表・ディスカッション）

特別な指示がない場合は研究棟3階の臨床薬理学講座に集合する。

変更がありうるため、初日のガイダンスで必ず説明を受けること。リモートで講義を行うこともある。
集合写真を撮るが、写りたくない人は似顔絵の提出で代用可能である。また、Comprehensive physical examination は身体診察の協力者（患者役）をお願いするが、拒否しても評価に関係しない。